

高学年の部講評

元上北地方小教研図工部会会長
吉田 紀美男

ことし こうがくねん さくひん ちからづよ しゅうさく
今年は、高学年の作品に力強い秀作が多かった
ように思います。桜流鏝馬を大胆な構図で力強く描
いた「あたれっ！あたれ～！！」は、絵の具の濃淡や
タッチを工夫して高学年らしい作品に仕上げています。
さいしょく さい のうど
彩色の際に気をつけて欲しいことは、色の濃度や
めいあん ちょうし しゅだい こ まわ あわ
明暗の調子です。主題の部分を濃く、周りを淡く彩
色することで軽重が感じられるようになり、主題が
めいかく こんご さくひん い
明確になってきます。今後の作品づくりに生かしたい
ものです。

さくひん
今年の作品は、馬と人とのふれ合いをテーマにした
ないよう かん いっしょうけんめい
内容が多かったように感じました。馬だけ一生懸命
描いている作品も何点か見られましたが、どうしても
おとな かんどう つた き
大人の絵になってしまっていて、感動が伝わって来ません。
かたち ひょうげん
形にこだわらず、自分の感動を思い切り表現した作
品には、子どもらしい感性が感じられとても魅力的で
さんこう
す。来年の参考にしたいものです。